

高島市が設定した令和6年度の「地域と学校の連携・協働体制構築事業」に係る目標及び実績

市町名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
高島市	③学校と家庭の課題	読書習慣の定着・読書体験の充実	児童生徒にとって、スマートフォンやタブレット等インターネット環境が身近になっている状況のなか、本市では読書離れが課題となっている。こうしたなか、学校においても読書意欲が向上する取り組みが求められており、読書を通じて、児童生徒の豊かな心を育むことにつなげていく。	・地域ボランティアによる読み聞かせにより、児童生徒に本に親しみを持ってもらえるよう継続的な取り組みを行う。 ・学校で朝の時間に、読書をする時間を設け、児童生徒が自ら本を手にとって読書を行うことにより、読書意識の向上を図る。	左記の取組と合わせて ・図書ボランティアを中心に、学校図書室や公立図書館と今まで以上に連携し、身近に本と親しむ環境を整える。 ・学校での朝読書の時間に、地域の大人も一緒に読書するようにし、地域全体で読書に親しむ雰囲気高める。	地域ボランティアによる読み聞かせや、学校での朝読書の取り組みにより、児童生徒の読書意識が向上する。	1人あたりの読書冊数 (子ども読書活動に関する調査)	6冊	冊	7	6.2	地域ボランティアによる読み聞かせや、学校での朝読書の取り組みにより、前年度(5.9冊)より冊数が増えたものの、目標である6.5冊には届かなかった。ただ、今年度から市内の全学校を対象とした2名の学校司書が配置されたことから、図書室等の整備も進んでいる。学校司書と地域の図書ボランティアとの連携もできつつあることから、今後更に読書環境が良くなっていくと考えられる。来年度からは今年度で作成した「第4次子ども読書推進計画」を中心に、学校・家庭・地域が連携して読書環境をより良いものとし、更なる冊数の増加に挑みたい。